

生涯
学習課

広島県代表の庄原っ子にエール

全国大会等出場者壮行式



スポーツ部門で全国大会へ出場する選手の壮行式が1月29日、多くの関係者の出席のもと市役所本庁舎で行われました。

木山耕三市長と堀井秀昭市議会議長が激励のあいさつを行い、出場者一人一人に祝金と花束が贈られました。

出場者を代表して杠 翔希さんが決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

出場者は次のとおりです。

- 堀井 亮佑 (西城中3年)**
●第53回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(火)～6日(土)
ところ 北海道富良野市
種目 アルペン男子ジャイアントスラローム
- 須安菜々香 (高野中1年)**
●第53回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(火)～6日(土)
ところ 北海道富良野市
種目 アルペン女子スラローム
- 天根 千晴 (高野中2年)**
●第53回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(火)～6日(土)
ところ 北海道富良野市
種目 アルペン女子スラローム
- 堂面 風人 (高野中3年)**
●第53回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(火)～6日(土)
ところ 北海道富良野市
種目 アルペン男子スラローム
- 新井 蓮 (庄原中2年)**
●第10回全国中学生空手道選抜大会
とき 3月28日(月)～30日(水)
ところ 北海道北広島市
種目 男子個人組手(中学2年の部)
- 角田 駿介 (三次高1年・西城町)**
●第31回全国高等学校新体操選抜大会
とき 3月19日(土)～21日(月)
ところ 長野県長野市
種目 団体競技(男子)
- 小田 采奈 (比和中3年)**
●第53回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(火)～6日(土)
ところ 北海道富良野市
種目 アルペン女子ジャイアントスラローム
- 熊本 心優 (比和小6年)**
●JOCジュニアオリンピックカップアルペン競技 技術系
とき 3月25日(金)～29日(火)
ところ 岐阜県高山市
種目 K1スラローム、スラローム
- 種目 K2ジャイアントスラローム、スラローム**
ところ 岐阜県高山市

生涯
学習課

新たに7人がガイド登録

庄原市文化財ガイド養成講座

生涯学習課は、市民や観光客に地域の魅力を紹介する「文化財ガイド」の養成講座を実施しています。

5期目となる本年度は、庄原市観光協会との「さとやまガイド養成講座」と連携して、現地研修を中心とした4講座を開講。実践的なガイドスキルを身に付け、ガイドに不可欠な庄原市の歴史・文化・自然などについて理解を深めるため、市内でガイドとして活躍している方を講師に迎えました。

11月から「庄原英学校と倉田百三」「庄原地域の天然記念物の観察」「庄原市歴史民俗資料館内見学」を開講し、本市の文化財について学習しました。

2月17日の最終講座では「東城のまちなみ歩き」と題し、東城町観光ボランティアガイド会顧問の藤井岑雄さんを招き、現在に残る近世から近代の町並みの成り立ちを歴史的な背景と共に学びました。

本年度の講座では7人がガイドとして登録され、今後、さまざまな方面での活躍が期待されます。



講師から西方寺の説明を受ける参加者

自治定住課 地域の維持へ担い手づくりを 地域づくり実践研修会

市と庄原市自治振興区連合会は2月7日、地域づくり実践研修会をふれあいセンターで開催し、40人が参加しました。全国各地の地域づくりを支援している講師の川北秀人さん(人と組織と地球のための国際研究所代表)が講演し、「人口減少や高齢化への対応は、発展や活性化よりも維持を前提に活動の担い手を増やすことが重要」と指摘。国勢調査の資料をもとに「庄原市では10年から20年後に、地域づくりの主たる担い手である65歳から84歳の人口は大きく減り、要介護の割合が高くなる85歳以上の人口はまだ増加する。今、地域活動の維持を考える正念場だ」と分析したうえで、「地域の皆さんはサービスの受け手ではなく、できる範囲で担い手となる取り組みが必要。全国各地の人口構成と比較して庄原市の高



川北さんの話を熱心に聴く参加者

齢化は50年先を進んでいると言っている。周りに事例などない。自らが先進地として取り組むという意識を持ってほしい」と力説しました。そのほか、自治振興区や自治振興区連合会がそれぞれ活動を報告し、情報の共有を図りました。参加者からは「参考になる事例があった」「いろいろな取り組みが聞けてよかった」といった声が聞かれました。

商工観光課 「山遊びの庄原ブランド」構築に向け 「山遊びの庄原」戦略ワークショップ



講演する清水さん

市と庄原市観光協会は1月7日と2月12日、「山遊びの庄原」戦略ワークショップを実施し、市内観光関係者など約30人が参加しました。「健康」「旅」「山歩き」の専門家、清水正弘さんを講師に招き、「山遊びの庄原ブランド」の構築に向け、具体的な戦略プランの策定について検討しました。清水さんは講演で、誘客を図るポイントとして①独自性のある観光メニューの開発②流行発信地の動向把握③共通の観光資源でつながる周辺自治体との広域連携―を挙げ、神話やたたら製鉄の歴史が本市の独自性の発揮と広域連携にも生かせる例として紹介。参加者に対し「山遊びの庄原」の目指す姿、方向性と取り組みのヒントを語りました。参加者は「講演を聞いたことでより活発な意見交換ができた。出た意見を戦略プラン策定に生かしてもらえれば」と話していました。今回策定する戦略プランを基に、「山遊び」をテーマとした観光交流の活性化につなげていきます。

商工観光課 観光客ニーズに合わせた商品づくりを学ぶ 庄原市観光地づくり講座

本講座は3月10日まで行われ、開発した旅行商品は販売サイトへ登録するほか、市観光協会が企画するツアーでの実施や、旅行会社への売り込みなど誘客施策へ活用する予定です。

市と庄原市観光協会は、観光商品づくりのノウハウを学ぶ計4回の連続講座、庄原市観光地づくり講座を1月28日からスタートし、市内観光関係者など約30人が参加しました。これは大手旅行会社である(株)JTBから、経験やノウハウを学び、滞在プログラムの開発を目的に実施するものです。同社は講演で、地域資源のブランド化に成功した事例や、旅行商品を販売する営業マンの立場として売りやすい商品のポイントの説明。参加者は「グループワークを通じ魅力的な旅行商品を開発したい」などと話していました。



講演を熱心に聴く参加者

生涯学習課 楽しくスキー技術の向上を 庄原市レベルアップスポーツ教室

スキーの技術向上と楽しさを知ることを目指す「レベルアップスポーツ教室」を1月31日、スノーリゾート猫山で開催しました。小学1年生から大人までの65人が参加し、それぞれのレベルに応じたクラス(初心者・初級・中級・上級)に分かれ、全日本スキー連盟公認指導者から、スキーの基本・競技技術などを学びました。自分の目指す技術習得に向けて真剣に取り組みながら、お互いを励まし合うなど、和やかにスキーを楽しんでいました。



指導員に教わりながら楽しく滑走



自治定住課 東京で庄原への定住をPR！ JOIN 移住・交流&地域おこしフェア



雪合戦ウェアに身を包みPRを行う協力隊員

1月17日(JOIN)一般社団法人移住・交流推進機構)と総務省が主催する「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア」に庄原市から地域おこし協力隊員5人と市職員1人が参加し、庄原市への定住をPRしました。会場となった東京ビッグサイトには、全国から約400の団体が出席。庄原市は移住・交流相談ブースで移住の相談を受けました。また、体験ブースで「ヒバゴンと雪合戦」体験を実施。ヒバゴンと他地域のゆるキャラ対決も行われ、注目を集めました。来場者から「広島県で雪が降るんですか」と声をかけられることも多く、庄原ならではの自然を楽しむライフスタイルの魅力を直接伝え、印象づけることができました。今後首都圏を中心に、庄原市への定住をPRしていきます。

企画課 研究成果の事業化に期待 庄原市県立広島大学研究開発助成事業報告会

市が助成し、県立広島大学が取り組んだ研究成果を発表する「県大助成事業報告会」を2月22日、庄原市ふれあいセンターで開催し、事業者や市民の皆さんなど70人を超える参加がありました。当日は、これまで進めてきた研究のうち、平成26年度事業として採択した3件について、各研究者が情報や結果を報告。市内の農産物を使用した商品や超音波によるイノシシ侵入防止装置の開発、どんぐりコロボク豚を使用した生ハム製造と販売に向けた調査研究の成果やその活用方法を巡って、活発な意見交換が行われました。今後、研究成果を地域に還元するため、事業化への取り組みが期待されます。

市が助成し、県立広島大学が取り組んだ研究成果を発表する「県大助成事業報告会」を2月22日、庄原市ふれあいセンターで開催し、事業者や市民の皆さんなど70人を超える参加がありました。当日は、これまで進めてきた研究のうち、平成26年度事業として採択した3件について、各研究者が情報や結果を報告。市内の農産物を使用した商品や超音波によるイノシシ侵入防止装置の開発、どんぐりコロボク豚を使用した生ハム製造と販売に向けた調査研究の成果やその活用方法を巡って、活発な意見交換が行われました。今後、研究成果を地域に還元するため、事業化への取り組みが期待されます。



報告内容を熱心に傾聴する来場者

総領支所 地域に元気とやる気を発信！ 介護予防事業で新春お笑い大会

ひょうたんクラブ代表の塚本捷支さんは「これからも地域の人のふれあいを楽しみに、活動の輪を広げていきたい」と話していました。ひょうたんクラブでは月1回、60歳から90歳の男性メンバー28人が仲間づくりや生きがいづくりを目的に、料理教室やお花見・グラウンドゴルフなどの各種交流会を行っています。

庄原市介護予防事業「男性いきいき講座」ひょうたんクラブによる毎年恒例の新春お笑い大会が1月19日、総領健康福祉センターで開催され、地域住民50人が参加しました。午前中はカラオケ大会、午後からは手品や人形劇などが披露されました。メンバーそれぞれの得意分野で準備や出演を行い、地域へ元気とやる気を発信しました。



ひよっとこ登場に沸く